

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日更新

事務事業名		国保運営協議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	財津 公正
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	西本理喜子
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	国保年金班	(内線)	2136
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	国民健康保険法第11条		
	国保	1	3	1	10388			成果優先度評価結果	: ㊹
								コスト削減優先度評価結果	: -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・国民健康保険法第11条により設置。市長から諮問のあった国保事業の運営に関する重要事項について審議し、その結果の意見を市長に答申する。組織=被保険者を代表する委員4名、保険医又は保険薬剤師を代表する委員4名、公益を代表する委員4名及び被用者保険等被保険者を代表する委員1名によって構成。任期=2年・国民健康保険法の定めによる。 ・財政運営は医療費の増加に伴い非常に厳しい状況にある。
【業務の流れ】	委員選任事務、会の開催通知、会の運営事務、報酬費用弁償の支払い事務等
【主な予算費目】	1報酬、9旅費(費用弁償)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	法で設置を定められたものであり、特段意見や要望は出ていない。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	国保予算及び決算関係の諮問についての運営協議会を2回開催。国保連合会主催の委員研修会へ1回参加。	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 諮問に応じた運営協議会を2回開催、国保連合会主催の委員研修会へ1回参加。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア:開催回数 イ:参加人員(延べ)	予算の主な増減の理由
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 国保財政	(単位) 千円 ア:予算額 イ:	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 事業運営の重要事項を審議することによって国保財政を健全なものにする。	(単位) 千円 ア:単年度収支額 イ:	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠 単年度収支額が国保財政の健全性を計る指標となる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込
①活動指標	ア 回		5	2	3	2	3	3	3	3
	イ 人		44	18	39	28	39	39	39	39
②対象指標	ア 千円		5,762,731	6,062,304	6,086,500	6,479,437	6,176,800	6,260,000	6,344,300	6,430,000
	イ									
③成果指標	ア 千円		5,888	91,824	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円	260	134	231		231	231	231
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	260	134	231	0	231	231	231	0
(A)のうち指定経費	千円	260	134	145	0	145	231	231	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3	1	3	2	3	3	3	0
	延べ業務時間	時間	110	50	110	70	110	110	0	0
(B)人件費計	千円	444	203	447	278	447	447	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	704	337	678	278	678	678	231	0	

事務事業名	国保運営協議会運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 運営協議会の開催が2回で済んだため	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 平成24年度から医療費分国保税を増額し、更に一般会計からの法定外繰入を実施しているため達成できる見込みである。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 成果の向上余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国民健康保険法の定めによる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要な費用は会議の報酬、費用弁償のみである。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 市長の諮問に応じて開催されるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 国民健康保険加入者すべてに関係している。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 委員は住民の代表である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成23年度で基金が枯渇してしまい平成24年度以降は歳入不足となっており、医療費分の国保税の増額を行っていたが、それでも不足している分について、一般会計からの法定外繰入を実施している。なお、法定外繰入については、ある程度のルールを決めて行うように指摘がされている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					